

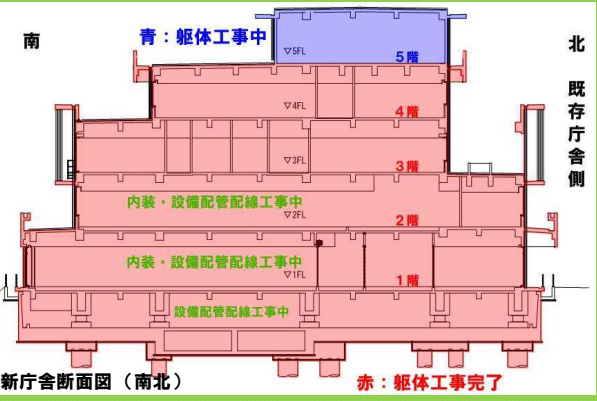
新庁舎建設だより

～八女市新庁舎建設工事～

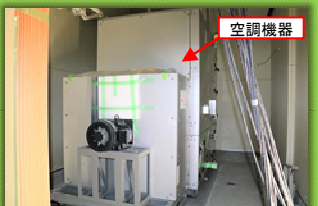
2023年8月 No.18
発行:八女市企画部
新庁舎建設課

工事の進捗状況

4階躯体工事(4階柱・壁～5階梁・床)が7月下旬に完了し、いよいよ躯体工事は最終階(5階)の施工に着手しています。1・2階では、外部サツのガラスもはめ込まれ、引き続き内装工事や設備の配管配線工事を進めています。8月下旬には3階の内装工事に着手する予定です。



1階 天井内の配管や配線工事が終わり、天井を貼るための下地が組まれています。



1階 機械室に、執務室や待合ホールの大空間に使用する床下空調機器が据えられました。



2階 7月上旬に躯体工事の片付を終え、サツの取付、配管・配線、内装工事を開始しました。



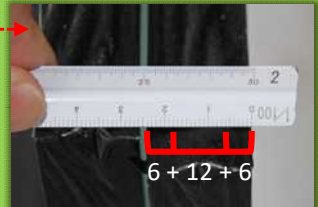
ZEB(ゼブ)

新庁舎は環境に配慮した建物として、省エネルギー性能を評価する第三者認証のBELSで五つ星の評価を受け、『Nearly ZEB』(ニアリーゼブ)の認証を取得しています。ZEBとは、快適な室内環境を実現しながら、省エネや創エネにより、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物で、今回新庁舎が認証を取得した『Nearly ZEB』は基準値に対しての一次エネルギー消費量の削減割合が75%以上となると評価されたものです。延床面積1万㎡を超える自治体の建築物でこのランクを取得した建物は全国的にも例が少なく、環境に配慮した先進的な取り組みとなります。

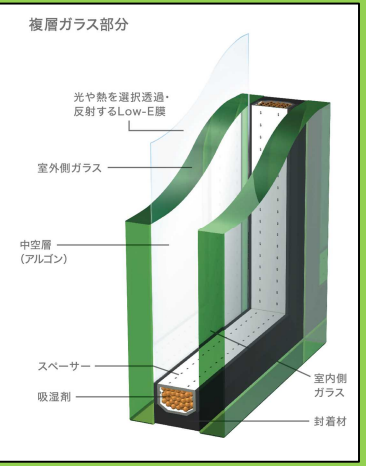


Low-e複層ガラス

新庁舎の外部サツには、環境負荷を低減させるため、断熱性の高いLow-e複層ガラスを採用しています。これは、室外側のガラスの中空層に接する面に、熱放射を遮断する金属膜をコーティングした複層ガラスです。夏は日射熱の流入を、冬は暖房輻射熱の流出を防いで冷暖房効果を高めることができます。また、新庁舎の複層ガラスは、中空層に通常の空気よりも熱が伝わりにくく断熱効果の高いアルゴンガスが注入されています。



ガラス全体の厚みが24mmあります。(室外側ガラス6mm+中空層12mm+室内側ガラス6mm)



8月の工事予定

※ ○: コンクリート打設日(予定)
※ 現場全休日: 12～15日及び日曜日

工種	日程	予定
躯体工事	5階	7/27
	1階	7/27
内装工事	2階	7/27
	3階	7/27
	4階	7/27
外装工事	7/27	
設備配管配線工事	7/27	

問い合わせ: 新庁舎建設課: 0943-24-8091
工事現場事務所: 0943-24-8650(施工業者: 東急・イグニッション JV)